

久留米焼きとり大集結



9月24日と25日、東町公園で「第20回久留米焼きとり日本一フェスタ」がありました。3年ぶりに、焼き鳥8店舗、その他に5店舗が参加。約3万人が来場し、1万2000本を売り上げました。久留米焼きとり文化振興会会長の永松雄一郎さんは「多くの人に来てもらって待ち望んでいたという気持ちで伝わってきました。フェスタからまち全体を楽しんでもらいたい」と話しました。



各店舗1本1本丹念に焼き上げ、来場者は出来たてを味わっていました

屋台やステージで国際交流

10月2日に久留米シティプラザ六角堂広場で、「KurumeこくさいDay」が開催されました。5カ国の料理を楽しめる国際屋台や、歌やダンス、空手演武のステージなど内容も盛りだくさん。初めて来場したという筒井かよこさん（野中町）は、「普段食べない民族料理が多くて、いい機会でした。いろいろな国の料理を安く食べられてよかったです」と笑顔で語りました。



ステージでネパールダンスを披露した久留米ゼミナール日本語学科の留学生。国際色豊かに会場を盛り上げました

園児が「交通ルールを守ってね」

9月21日、秋の交通安全県民運動に合わせて、市と県警察が久留米シティプラザで秋の交通安全フェアを開催しました。久留米筑水高校の生徒たちが育てた花の苗や反射材を配布し、交通事故防止や飲酒運転撲滅を呼び掛けました。久留米あかつき幼稚園の園児は、「道路では遊びません。お酒を飲んだら絶対に車を運転しないでください」と、交通安全の誓いを読み上げました。



年長組の6人が、警察官の制服を着てステージに登壇しました

マンホールに50周年記念のふた

久留米市の下水道処理開始50周年を記念するマンホールのふたができました。9月25日の「上下水道フェア」でお披露目。ふたには、きれいな川から顔を出してくるつぱがデザインされ、処理開始の年が記されています。50周年を示す文字も、下水が浄化されてきれいになる様子を色で表現。久留米シティプラザ南側の六ツ門あけぼの商店街に設置しています。



上下水道フェアで、くるっぱが記念マンホールのふたをお披露目しました

中央公園に給水スポット誕生

10月1日、中央公園のKURUMERU西側に誰でも無料で利用できる給水スポットが誕生しました。マイボトルに冷たい水道水をくむことができます。水道水のおいしさや安全性のPR、プラスチック廃棄物の削減が目的。市上下水道部の有村友希さんは「久留米市の水道水は、筑後川から取水しています。ミネラルを適度に含み、まろやかな味でおいしいです」と話しました。



一度に300ミリリットルの水道水が出ます。マイボトルの大きさに合わせて利用ができます

バイオ産業の拠点施設に

10月6日、久留米リサーチパークに「福岡バイオコミュニティゲノム編集産業実証ラボ」が開設されました。ラボでは、特定の遺伝子を改変するゲノム編集を利用した「モノづくり」の試験研究から実証試験までを支援します。九州大学の中村崇裕教授は「農産物の品種改良にかかる時間を5分の1に短縮できるなど、バイオ企業の発展に大いに寄与します」と説明しました。



開所式で、ゲノム編集技術や実証ラボの役割、応用例などを解説する中村教授（右）

市公式 SNS で情報発信中

災害や新型コロナなどの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。

 ホームページ 市民の皆さんに必要な行政情報	 ライン 「選べる×届く」お役立ち情報
 ユーチューブ 旬な話題や市長記者会見など	 フェイスブック タイムリーなイベント情報
 くるっぱ ツイッター くるっぱのつぶやき	 くるっぱぐらむ 久留米の魅力を知ると紹介

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

TV・ラジオで放送中

KBC テレビdボタン

- ①テレビでKBCを視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大12項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・広報くるめラジオ版 (月～金) 12時5分
- ・インクルージョンのin久留米 (出) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信

インクルージョン (福岡よしもと)

今月の表紙

新人消防士が本番さながらに訓練



消防学校を卒業した久留米広域消防本部の消防士11人が、9月26日から10月5日まで本番を想定した訓練の指導を受けました。